

大学・高専機能強化支援事業（支援 1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F139210110520	設置等組織名	データ&イノベーション学群
大学名	高知工科大学	設置区分	公立		
学校種	大学	都道府県	高知県	事業計画名	高知工科大学データ&イノベーション学群新設事業

1.フェーズ別の計画及び取組状況

フェーズ別の事業計画と取組状況、年度別の自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に取組を赤字で記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間		事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
フェーズ1				R5年度自己評価	リストから選択してください。
				○年度自己評価	リストから選択してください。
フェーズ2 前倒し				○年度自己評価	リストから選択してください。
認可申請 又は届出		令和5年4月 データ&イノベーション学群の設置届出予定	令和5年4月27日 データ&イノベーション学群の設置届出		
フェーズ1 後倒し				○年度自己評価	リストから選択してください。
フェーズ2	令和5年4月 データ&イノベーション学群設置届出 （新校舎の整備計画） ①令和5年4月～8月 基本設計 ②令和5年9月～12月 実施設計 ③令和6年1月～4月 積算・建築確認申請 ④令和6年4月～7月 施工会社選定 ⑤令和6年8月～令和8年1月 新校舎建設 ⑥令和7年4月～令和8年1月 機械警備・監視カメラ構築費等付常設備導入、情報インフラ整備 ⑦令和8年2月～3月 什器備品・教育関係設備整備 ⑧令和8年4月 供用開始	令和5年4月 データ&イノベーション学群設置届出 （新校舎の整備計画） ①令和5年4月～8月 基本設計 ②令和5年9月～令和6年1月 実施設計 ③令和6年2月～5月 積算・建築確認申請 ④令和6年4月～8月 施工会社選定 ⑤令和6年8月～令和8年2月 新校舎建設		R5年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
				R6年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
開設 又は定員増		令和6年4月 データ&イノベーション学群開設予定（入学定員60人、工学関係）	令和6年4月 データ&イノベーション学群開設（入学定員60人）		
フェーズ2 後倒し				○年度自己評価	リストから選択してください。
フェーズ3	令和6年4月 データ&イノベーション学群設置 ①令和6年4月～ 教育支援のための事務職員の配置 ②令和6年4月～ マーケットリサーチを含む広報業務の委託（毎年）	令和6年4月 データ&イノベーション学群開設 ①令和6年4月～ 教育支援のための事務職員の配置 ②令和6年4月～ マーケットリサーチを含む広報業務の委託（毎年）		R6年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
				○年度自己評価	リストから選択してください。
定員減又は 学部等の廃止					

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	高知工科大学
-------------	-------	-----	--------

2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

- i) 学生募集停止中の大学

該当無し

☒ チェック
- ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し

☒ チェック
- iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

該当無し

☒ チェック
- iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し

☒ チェック
- v) 大学、短期大学及び高等専門学校を設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し

☒ チェック

3.申請要件の取組状況

令和6年度 の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。	
	確認を受けている☒ チェック 確認の対象に該当しない☐ チェック	
②	十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。	
	計画通りに進んでいる☒ チェック	
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）	
	計画通りに進んでいる☒ チェック	
④	特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。	
	計画通りに進んでいる☒ チェック	
⑤	計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。	
	計画通りに進んでいる☒ チェック	
⑥	特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。	
	計画通りに進んでいる☒ チェック	
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。	
	計画通りに進んでいる☒ チェック	
⑦	学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。	
	計画通りに進んでいる☒ チェック	
⑧	入学定員が20名以上増加する計画であること。	
	計画通りに進んでいる☒ チェック	
⑨	事業計画の選定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）	
	計画通りに進んでいる、又は設置等を行った☒ チェック	
⑩	大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。	
	計画通りに進んでいる☒ チェック	
⑪	フェーズ3の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。	
	計画通りに進んでいる☒ チェック	
⑫	計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。	
	計画通りに進んでいる☒ チェック	
⑬	選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文部科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。	
	計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した☒ チェック	
⑭	文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	
	認定を受けておらず申請する意向もない☒ チェック	

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	高知工科大学
-------------	-------	-----	--------

4. 審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和6年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

- ☒ チェック

a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- ☒ チェック

b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- ☒ チェック

c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
●高知県をフィールドとした課題解決型学習を行うことし、地場企業のみならず、1次産業、市町村、博物館等の文化施設との連携教育を行う予定である。学生がグループごとに企業等と連携して取り組み、対象科目は1～3年生の各学年に数科目配置予定である。	●62名の第1期生が入学し、「データ&イノベーション概論」と「先端デジタル価値創造」の2科目を通してPBL（Project Based Learning）の準備を進めた。学生たちはグループワークで実践的な準備を行い、AI、3D空間、DXといった先端デジタル技術について実習を重ねた。1月に連携先へ配属されプロジェクト内容を理解し、2月までに計画を策定。特に3月にはあいおいニッセイ同和損害保険株式会社と包括的な連携推進に関する協定を結び、社長に対してプロジェクト内容のプレゼンテーションを行った。これらの準備を経て、企業や団体と連携した10のPBLプロジェクト内容を2025年5月に発表する予定である。	
●本学、高知大学及び高知県立大学は、協定により相互に授業履修、単位修得が可能な環境が整っている。この3大学が連携し、地域医療課題の解決を前提とした公衆衛生学、経営・経済学のヘルケア組織への応用科目、AIやICT技術を導入した最先端農業に関連する科目を学生に提供している。これらは新学群においても提供予定である。	●内閣府のIoTプロジェクト（展開枠）と高知県主導のヘルスケアイノベーションプロジェクトを通じて、高知大学との連携を引き続き強化した。本学のハイスを利用したIoTとAIを活用した先端農業の教育サービスも、高知大学と共有した。さらに、高知県立大学と永国寺キャンパスでの授業共有を進め、データサイエンス、経営、地域科学の科目における連携を強化した。	
●海外との連携については、海外協定校60校のうち26校と学生交流の覚書を締結し、多様な国・地域の大学と交換留学が可能となる体制を整備している。特にチェコのプラデツ・クラロベ大学やスペインのバレンシア工科大学とは活発に交流が行われており、新学群にはこれらの大学がもつ学問分野が含まれることから、研究留学や科目履修による学生交流の積極的な推進を図る予定である。	●海外との連携については、海外協定校は65校（うち学生交流の覚書を締結しているのは30校）に増加し、多様な国・地域の大学との交換留学が可能となる体制の整備を継続している。チェコのプラデツ・クラロベ大学やスペインのバレンシア工科大学とは継続的かつ双方向の交流が行われており、今後は新学群も含めて研究留学や科目履修、また様々な短期プログラムを通じて協定校との学生交流を推進していく。	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- ☒ チェック

a.入学者選抜における科目の見直し
- ☒ チェック

b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- ☒ チェック

c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- ☒ チェック

d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
- ☐ チェック

e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
●当該学群は文理統合型人材の養成を目的としているため、高校での理系・文系の選択に依存しない入学試験となるよう教科・科目を設定している。大学入学共通テストの教科「情報」についても同様の理由から必須とはせず、選択科目として利用することを予定している。	●「文理統合型人材」を受け入れるため、高等学校での理系・文系の選択に依存しない入学試験を実施した。また、学生の多様性を実現するため、昨年に引き続き、令和7年度入試（令和6年度実施）の学校推薦型選抜にて「女子学生に限定した入学試験」を実施した（志願者5名、合格者5名）。その結果、文・理、男・女を問わず様々な背景を持つ学生を受け入れた。【入学生68名（うち女子学生22名）】	
●新学群において女子学生に限定した学校推薦型選抜を実施する予定である。また女子学生の支援については、令和5年度に新たに「女性エンジニア育成支援センター」を立ち上げ、取組を進めている。	●昨年に引き続き、令和7年度入試（令和6年度実施）の学校推薦型選抜にて「女子学生に限定した入学試験」を実施した。（志願者5名、合格者5名）。女性エンジニア育成支援センターでは、令和5・6年度にわたり女性エンジニアとして活躍する卒業生を招聘しての座談会や意見交換会を、女子学生のキャリア支援強化策として開催した。また、学群や学年を超えた女子学生のネットワークづくり、ロールモデルを紹介する女子学生による理工系女子を紹介する冊子を制作し、理系の面白さを伝える中学生を対象とした科学体験教室等の担当学生を募集し、令和7年度実施の企画・準備を進めた。	
●高等学校教科「情報I」の改訂に伴うAI・データサイエンス・セキュリティ・プログラミング分野の教育内容強化のため、高知県教育委員会と「デジタル教育連携に関する協定」を締結し、高等学校の授業において連携を行っている。	●高知県教育委員会との「デジタル教育連携に関する協定」に基づき、高知県立追手前高校をはじめとする進学校の高校生を対象に、情報Iの内容に沿った講義を実施した。特にプログラミング実践に関する部分では、ハンズオン形式の指導を4コマ分の時間をかけて、7クラスに対して行った。	
●社会人特別選抜を実施予定である。また社会人を対象とした大学院起業マネジメントコースで提供しているDXによる経営革新等の教育研究機能を、新学群に組み込む予定である。	●学生の多様性を実現するため、引き続き学士課程の社会人向け入試である「社会人特別選抜」の募集要項を作成し、本学ホームページ等に公開した。令和7年度入試（令和6年度実施）において、2名の出願があったが合格者はいなかった。令和7年度から大学院工学研究科基礎工学専攻に新たに設ける「デジタルイノベーションコース」についても「社会人特別選抜」を実施したが、出願者はいなかった。 新学群の学生の進学が見込まれる「デジタルイノベーションコース」開設に向けて、カリキュラムの精査と科目ごとの立上げシラバスの作成を行った。なお、起業マネジメントコースで提供しているDX教育の内容を含んでいる。また新学群については、文理融合型のデータサイエンス・AI教育プログラムを策定し、実践的かつ先進的な学びを提供する体制を整えた。	

大学名	高知工科大学
-----	--------

1. 本事業対象となる学部等の状況

＜合計＞

[illegible]

大学名	高知工科大学
-----	--------

2.理・工・農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

[illegible]

大学名	高知工科大学
-----	--------

3.大学（学士課程）の状況

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	520	590	590																
		入学者数	人	573	644	610																
	その他の学期	入学定員	人	***	***	***																
		入学者数	人	***	***	***																
	入学者合計	入学定員(A)	人	520	590	590																
		入学者数(B)	人	573	644	610																
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.10	1.09	1.03																
	収容定員等	収容定員(C)	人	2090	2150	2220																
		編入学定員	人	***	***	***																
		在籍者数(D)	人	2302	2358	2440																
		編入学者数	人	2	0	0																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.10	1.10	1.10																

4.外部資金の状況（全学）

年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度												
改組状況		選定－5年	選定－4年	選定－3年	選定－2年	選定－1年	選定	開設												
項目	単位																			
外部資金獲得額	千円	620,208	700,484	558,334	467,909	458,050	413,136	467,151												

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 （過去5年間における各年度の外部資金獲得額のうち最大額及び最小額を除いた残り3年分の平均）（E）	千円	548,817
本事業による助成金の額(F)	千円	490,000
フェーズ3の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	561,067

特記事項